

令和4年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 令和5年6月29日

部課名 健康こども部スポーツ振興課

施設名	弘前市体育施設(G21)
施設の設置目的	市民一人一人の健康増進と体力づくりのため、児童・生徒から高齢者まで各世代にあった各種競技スポーツ及び生涯スポーツとして軽スポーツ・レクリエーションスポーツの普及・推進を図るため設置したものである。
所在地	別紙
指定管理者名	公益財団法人弘前市スポーツ協会
指定期間	平成26年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況 施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね計画通りに実施されている。維持管理業務を他の指定管理施設と総合的にいき、業務の維持性・効率性を図っている。また、業務監査、役職会議などを通じて情報共有や協議を行い、業務の効率化を図っている。	
2 自主事業の実施状況 屋外施設を有効に利用し、芝生ヨガやカヌー、プールを活用したSUP・水上遊具による教室(弘前海洋)など、スタッフのスキルを活かした教室や大会を実施した。屋内施設では弘前海洋センターを中心に、十分な感染症対策を施しながら、「ストレッチ教室」「ヨガ教室」など、市民の継続的な健康維持のための教室も行った。また、施設の利活用を考慮した文化的事業(「ペーパークラフト教室」)も人数制限を緩和し、継続開催した。 バドミントンシャトル・卓球ボール、スポーツ用品(アパレル)、アメニティグッズ、サプリメント、氷の販売も継続して取り入れ、カップ飲料やプール利用者のニーズが高いアイス自動販売機も設置した。また、さくら祭りの開催に合わせ、弘前市民体育館駐車場を、利用者に支障をきたさない範囲で駐車場として利用し、収益事業を実施した。	
3 市民サービス向上のための取組状況 パンフレット、月間・週間予定表、ホームページ、SNS(Facebook)、館内掲示物を随時更新し、情報提供を実施。コロナ禍における施設利用案内については、市と連携しながら随時対応で情報提供を行った。また、施設の特徴に合わせた講習会に積極的にスタッフを派遣した。オンライン化に乗り、通常では予算的に1名程度しか受講できない講習(ノルディックウォーキング指導員、スポーツ施設管理士)に、協会全体で数名のスタッフを参加させ、資格を取得している。	
4 市民ニーズの把握の実施状況 ご意見箱、ホームページでのお客様の声、SNS(Facebook)での問い合わせなどを行った。また、より多くの利用者から、よりタイムリーに利用者からのご意見を聴取するため、アンケート実施方法の見直しを図り、年間を通じてアンケートを収集する方法を取り入れた。その結果、いただいた問い合わせやアンケートに、即対応できる案件は迅速に修理や手直しを施し、スタッフの接遇についても随時の対応を行った。自主事業を実施した際にもアンケートを収集し、お客様のニーズの把握に努めていた。	

5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

グループ全体で

利用団体数11,610件（前年比138.2%※R1年度比100.4%）

利用人数275,749人（前年比133.7%※R1年度比76.4%）

使用料22,065,090円（前年比135.9%※R1年度比86%）

※R3年度コロナによる利用休止期間（9月及び1月末-3月）

屋内施設においては、入場制限を施した大会や大会自体のキャンセルもあり、利用人数はコロナ以前まで戻ってはいない状態である。

利用人数が突出しているのは、大会キャンセル後の団体使用の貸出が多かったため。

6 指定管理業務の収支状況

再委託業務仕様内容の変更（必要度の査定及び近似業務の統一化）、計画的な修繕実施計画、計画的な経費執行等により、別紙予算書の執行状況となった。ただし、最低賃金の改定などによる人件費や再委託業務における契約事業者の基本単価のベースアップにより、支出負担が増加している。

7 実地調査の結果

自主事業の積極的な取り組みや、施設の維持管理・運営はおおむね適正に実施されている。

8 成果指標の達成度

別紙のとおり

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	C	業務日誌等、毎日の基本業務を適切に実施し、さらにコロナ感染症防止対策に対応した。可能な範囲で自主事業を実施し、アンケート調査から利用者のニーズ把握に努めました。必要な業務報告は遅滞なく報告した。 ※河西・金属事務処理ミス	使用料の取り扱い等についてコンプライアンスを徹底させるための職員研修を実施し、定期的な内部会計監査を実施したが、今後も継続的な実施が必要である。また、コロナ緩和による新たな生活（運動）習慣や利用者が求める多様な管理運営方法に柔軟に対応できるような知識（人）と財務の確保が必要である。
施設の管理	B	従来の維持管理の水準を維持した上で、利用者の安全を第一に緊急時（災害）対策に努めるとともに、個人情報・文書・備品等の管理を実施いたしました。	
経理の状況	C	指定管理料の長期的な執行計画を基に適正に執行に努めたが、最低賃金改定等による人件費のベースアップに対応できておりません。	人件費に加え、施設の老朽化に伴い、指定管理料の範囲内での大型修繕の執行計画が必要である。
団体の財務状況	B	指定管理料及び収益事業を適正に管理し予算範囲内で財務状況を維持しました。	組織全体のより具体的な長期的財務執行計画の構築が必要である。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	利用者ニーズを捉え、概ね適正な施設を運営を行っている。 また、事務処理ミスはあったものの、迅速な対応及び報告を行い、速やかに改善していた。	職員の資質向上と利用者ニーズの把握を図り、適正な施設運営と地域に密着した自主事業の展開などに期待する。
施設の管理	A	適性な施設管理に加え、通常、専門の業者に委託しなければ対応できない業務を職員自ら資格を取得し対応するなど、快適な施設環境作りと安全対策や緊急時対策を図っている。また個人情報や文書等の管理も適切に管理している。	長期的な視点での施設備品類の老朽化に伴う安全管理を進めていただく。
経理の状況	B	収支状況、経費の削減、帳簿等の整備・保管について、概ね適正に実施している。	最低賃金改定による人件費見直しの検討及び自主事業等による収入増の工夫が必要である。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する

別紙

番号	名称	所在地
1	弘前市立弓道場	弘前市大字笹森町38番地
2	弘前市第三市民プール	弘前市大字八幡町3丁目103番地
3	弘前市城北ファミリープール	弘前市大字八幡町1丁目9番地1
4	弘前市千年庭球場	弘前市大字小栗山字川合119番地7
5	小沢運動広場	弘前市大字小沢字御笠見59番地
6	弘前市民体育館	弘前市大字五十石町7番地
7	笹森記念体育館	弘前市大字下白銀町2番地1
8	河西体育センター	弘前市大字石渡1丁目19番地1
9	弘前B&G海洋センター	弘前市大字八幡町1丁目9番地1
10	岩木B&G海洋センター	弘前市大字兼平字猿沢32番地11
11	鷹揚園庭球場	弘前市大字下白銀町1番地1
12	弘前市金属町体育センター	弘前市大字金属町1番地9